

奈良仏教と神仏習合

2018 年本試

問 2 次のア～ウは、仏教の布教に取り組んだ人物についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

21

ア 鑑真は、密教の教えに厳密な戒律を取り入れた真言律宗の立場から、各地を遍歴し、病人の救済や、道路や橋の修造を行った。

イ 空海は、唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開くとともに、綜芸種智院を設立し、庶民教育にも努めた。

ウ 一遍は、念仏を唱えれば信不信にかかわらず往生できることを伝えるべく、各地を漂泊したことから、遊行上人と呼ばれた。

- ① ア 正 イ 正 ウ 誤
- ② ア 正 イ 誤 ウ 正
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ④ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	21	④	3

2018 年追試

問 5 日本における仏と神との関係についての説明として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 蕃神とは，外国の神という意味であるが，仏教伝来当初は日本の神を指して使われた語である。
- ② 神宮寺とは，神前で読経するなど，神に対して仏教の儀式を行うために神社の境内に設けられた寺である。
- ③ 権現とは，仏が仮に神として現れることを指して，反本地垂迹説の立場から唱えられた語である。
- ④ 神仏分離令とは，仏教を神道から切り離し，仏教の優位を明確にするために出された法令である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 5	24	②	2

2017 年本試

問 1 仏教が伝来することによって生じた、仏と在来の神との関係についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 仏教が伝来した当初、仏は、異国から到来した神と認識され、人々に利益や災厄をもたらすと考えられた。平安時代になると、神は仏が人々を救済するために現れた仮の姿であるという考え方が生まれた。
- ② 仏教が伝来した当初、仏は、当時の人々が唯一絶対の貴い神と考えていたアマテラスと対立する存在とみなされた。平安時代になると、仏はアマテラスが人々を教化するために現れた化身であるという考え方が生まれた。
- ③ 仏教が伝来した当初、仏は、異国から到来した神と認識され、人々に利益や災厄をもたらす存在であると考えられた。平安時代になると、仏は神が人々を守護するために現れた仮の姿であるという考え方が一般化した。
- ④ 仏教が伝来した当初、仏は、当時の人々が不可思議な現象や存在として捉えた神々と同様のものであると考えられた。平安時代になると、仏と神は異なる国に誕生した対立する存在であるという考え方が一般化した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	20	①	3

2016 年本試

問 3 次の文章は、伝来した仏教の受容過程について述べたものである。[a] ~ [c] に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 [22]

奈良時代には、朝廷の主導により、鎮護国家を目的として仏教が盛んに取り入れられた。なかでも聖武天皇は、諸国に国分寺・国分尼寺を建立したり、[a] などの護国経典を僧に読誦させたりして、篤い仏教信仰を示している。また、朝廷は、唐から鑑真を招き、僧となろうとする者に [b] を授けるための制度を整えた。他方、行基らは、灌漑設備や道路・橋を造るといった社会事業を行うとともに、広く民衆に仏教を布教していった。平安中期には、念仏を称えながら諸国をめぐった [c] によって、民衆に浄土信仰が広められた。

- ① a 『維摩経』 b 三 宝 c 空 也
- ② a 『維摩経』 b 三 宝 c 叡 尊
- ③ a 『維摩経』 b 戒 c 空 也
- ④ a 『維摩経』 b 戒 c 叡 尊
- ⑤ a 『金光明経』 b 三 宝 c 空 也
- ⑥ a 『金光明経』 b 三 宝 c 叡 尊
- ⑦ a 『金光明経』 b 戒 c 空 也
- ⑧ a 『金光明経』 b 戒 c 叡 尊

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 3	22	⑦	3

2014 年本試

問 1 次の文章は、仏教伝来後に生じた、神の捉え方の変化についての記述である。

・に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

神に対する信仰は、仏に対する信仰と融合し、神の前でが行われるようになった。その理由は、神も人間と同じように苦しんでおり、神自身が、苦しみから脱することを願っているからである、と説明されている。さらに、平安時代になると、神は仏の仮の姿であるとするが生まれている。

- | | | | | |
|---|---|--------|---|------|
| ① | a | 祓い(祓え) | b | 権現思想 |
| ② | a | 祓い(祓え) | b | 御霊思想 |
| ③ | a | 読経 | b | 権現思想 |
| ④ | a | 読経 | b | 御霊思想 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問1	20	③	2

2014 年 追 試

問 1 仏教による鎮護国家が目指された時代の人物である行基の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 人間は凡夫であると謙虚に自己を認識し，この世は ^{むな}空しく仮のものであり，ただ仏だけが真実である，と説いた。
- ② 諸国を遊説し，橋や道を造り，民間に慈悲の精神を広めた。後には天皇の尊崇を受けて，大仏の建立にも ^か関わった。
- ③ 都に大仏を建立し，全国に国分寺・国分尼寺を造り，僧侶に経典を ^{どくじゆ}読誦させ，国家の安定や滅罪を祈願した。
- ④ 多くの苦難を乗り越えて唐から渡来した。東大寺に戒壇を設け，公認の僧となるための正式な授戒制度を確立した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	20	②	2

2009 年本試

問 5 神仏習合の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 神道と仏教が重なり合うことを意味し、それぞれの要素は変質しつつも消滅はしない。神社に神宮寺がおかれるなどはその例である。
- ② 神道と仏教が重なり合うことを意味し、神道または仏教いずれかが支配的に理解されることもある。本地垂迹説などはその例である。
- ③ 神道と仏教が重なり合うことを意味し、神と仏が同体であるとみなされることもある。権現信仰などはその例である。
- ④ 神道と仏教が重なり合うことを意味し、そのことで両者は一つの教えへと昇華される。近代の国家神道などはその例である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 5	18	④	3

2008 年本試

問 2 平安時代の頃^{ころ}に盛んとなり、当時の人々の信仰に影響を与えた本地垂迹説に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 仏が仮に人となって日本の国土に現れるとする考え方
- ② 神が仮に仏となって日本の国土に現れるとする考え方
- ③ 仏が仮に神となって日本の国土に現れるとする考え方
- ④ 神が仮に人となって日本の国土に現れるとする考え方

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	15	③	2

2005 年追試

問 4 神と仏を関係づけた思想として神仏習合思想がある。神仏習合思想について記述したものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 神仏習合思想は、平安時代には本地垂迹思想として展開されたが、日本の神々は、衆生の教化のために諸仏が ^{かり}権 に神となって現れた化身、すなわち権現とみなされた。
- ② 神仏習合思想は、儒学とも習合して神儒仏一体の思想を生み出し、それは、近世になって本居宣長らの国学思想に継承され、日本独自の宗教思想を形成していった。
- ③ 神仏習合思想は修験道として結実したが、それは本来神の領域とみなされていた山において仏教の修行をし、^{げんりき}験力を修めようとするものであり、修行者は遊行僧と呼ばれた。
- ④ 神仏習合思想は中世になって、日本の神々への信仰を中心とする従来の神道に対し、仏教の教説を取り込んだ新たな神道を形成したが、それは復古神道と呼ばれた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 4	23	①	3

2002 年本試

問 2 ほんじ すいじやくせつ 本地垂迹説の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選
べ。

23

- ① 日本古来の神々を本とし、神が仏に衆生の救済をさせているとする説。
- ② この世のすべてを神と仏の計らいによる おの 自ずからなる働きとする説。
- ③ 一切の執着を離れて悟りの境地に入れば、神仏と一体になるとする説。
- ④ 真理の根源である仏が衆生を救済するために神となって現れるとする説。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	23	④	3